



平成25年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月4日

上場会社名 岡野バルブ製造株式会社
コード番号 6492 URL <http://www.okano-valve.co.jp/>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡野 正紀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 岡野 武治

TEL 093-372-9214

四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第3四半期の連結業績(平成24年12月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第3四半期	4,358	△29.6	△356	—	△196	—	△121	—
24年11月期第3四半期	6,194	△12.0	156	6.0	272	△4.0	127	174.3

(注)包括利益 25年11月期第3四半期 △103百万円 (—%) 24年11月期第3四半期 125百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第3四半期	△6.89	—
24年11月期第3四半期	7.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年11月期第3四半期	10,190	8,498	83.4
24年11月期	10,635	8,672	81.5

(参考)自己資本 25年11月期第3四半期 8,498百万円 24年11月期 8,672百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	4.00	—	4.00	8.00
25年11月期	—	—	—	—	—
25年11月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年11月期の連結業績予想(平成24年12月1日～平成25年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,202	△1.7	40	△88.2	180	△60.7	75	△62.0	4.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年11月期3Q	17,930,000 株	24年11月期	17,930,000 株
② 期末自己株式数	25年11月期3Q	260,899 株	24年11月期	260,199 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年11月期3Q	17,669,519 株	24年11月期3Q	17,714,063 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和への期待感から、円安・株高を背景に企業収益が改善するなど景気回復の兆しが見受けられたものの、海外景気の下振れリスクなどの懸念材料もあり、先行きは楽観視できない状況で推移いたしました。

当社グループは、発電プラント用バルブの製造販売およびメンテナンスを主要事業としておりますが、福島での原子力発電所事故以降、国内原子力産業の動向が依然不透明な状況の下で引き続き縮小した事業領域での活動を強いられることとなりました。

バルブ事業におきましては、国内では原子力発電所向け震災対策弁や新設プラントである大間原子力発電所向けの販売が中心となりましたが、その他で収益を牽引する案件が乏しく、売上高は前年同期に比べ大幅な減収となりました。一方、海外につきましては、台湾の新設火力発電所向け大型案件が売上計上されたことに加え、円高の是正が好影響を及ぼしたことも相俟って売上高が伸長しました。その結果、バルブ事業全体では前年同期に比べ若干の減収にとどまりました。

メンテナンス事業におきましては、原発事故に伴う需要規模縮小の影響が大きい中、火力発電所向け高付加価値工事の拡大や復興関連工事等の新規領域への進出に注力してまいりました。しかしながら、これらの売上計上時期が流動的であることやその他においては小規模案件の施工に終始せざるを得なかったことから、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

損益面につきましては、下期以降において短納期品で採算性の高い原子力発電所向け震災対策弁の生産・販売が好材料にはなっているものの、期初における売上高の絶対量不足とメンテナンス事業における未稼働人件費の増加には抗えず、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,358百万円（前年同期比29.6%減）、営業損失356百万円（前年同期は営業利益156百万円）、経常損失196百万円（前年同期は経常利益272百万円）、四半期純損失121百万円（前年同期は四半期純利益127百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ444百万円減少し、10,190百万円となりました。この主な要因は、仕掛品が316百万円増加した一方で、現金及び預金が883百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ270百万円減少し、1,692百万円となりました。この主な要因は、未払費用が142百万円、退職給付引当金が67百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ174百万円減少し、8,498百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が192百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年6月25日に修正発表した業績数値に比べて売上高、利益ともに低い進捗率となっておりますが、これはある程度織り込み済みであり、9月以降の3ヶ月間においてバルブ事業・メンテナンス事業ともに売上案件が集中することから、業績数値は当初の予想範囲の中で推移するものと思われま

す。バルブ事業におきましては、国内では原子力発電所向け震災対策弁の他、川崎重工業坂出工場向け船用弁の販売を主力として好調に推移し、また、海外においても台湾やタイの新設火力発電所向け売上計上が予定されており、通期でのバルブ事業全体の売上高は前年を大幅に上回る見込みであります。

メンテナンス事業におきましては、柏崎刈羽原子力発電所のSRV（主蒸気逃がし安全弁）点検や追加工事、川内原子力発電所の点検工事に加え、これまで注力してきた復興関連工事等の売上計上により、期末に向けて売上高は拡大基調で推移するものと見込んでおります。しかしながら、第3四半期までの売上高不足を解消するには至らず、前期に比べ大幅な減収が予想されます。

これらのことから、バルブ事業・メンテナンス事業をあわせた全体の売上高は、平成25年6月25日に公表した予想に対して概ねその範囲内で推移するものと思われま

す。一方、損益面におきましては、売上高の増加に伴い回復傾向には転じるもののメンテナンス事業において、待機コスト増加に伴う利益圧迫の状況が改善されないことから引き続き厳しい状況が想定されますが、これも予想の中に織り込んだ範囲となっております。

したがって、現時点においては平成25年6月25日に修正いたしました通期業績予想数値に変更はありません。

ただし、これらの予想および進捗は、受注案件の売上時期の流動性等、今後様々な要因により変動する可能性を含んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、平成25年10月1日付で連結子会社である岡野メンテナンス株式会社と岡野サービス株式会社は、岡野メンテナンス株式会社を存続会社、岡野サービス株式会社を消滅会社とする吸収合併を行っており、同日付で岡野メンテナンス株式会社は岡野クラフト株式会社に商号を変更しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,559,146	2,676,062
受取手形及び売掛金	2,938,936	3,017,539
製品	101,885	79,882
仕掛品	849,870	1,166,163
原材料	98,923	94,462
その他	254,783	371,974
流動資産合計	7,803,546	7,406,083
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	713,327	681,987
機械装置及び運搬具(純額)	915,760	919,672
その他(純額)	607,194	559,121
有形固定資産合計	2,236,283	2,160,781
無形固定資産	28,005	24,146
投資その他の資産		
投資有価証券	176,537	242,212
繰延税金資産	303,144	266,514
その他	90,698	94,814
貸倒引当金	△2,700	△3,600
投資その他の資産合計	567,680	599,942
固定資産合計	2,831,968	2,784,870
資産合計	10,635,515	10,190,954

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	213,375	218,021
未払法人税等	6,535	3,047
未払費用	292,517	150,020
賞与引当金	42,718	94,314
その他の引当金	87,776	45,632
その他	192,298	150,085
流動負債合計	835,220	661,121
固定負債		
退職給付引当金	760,939	693,731
役員退職慰労引当金	188,252	201,299
その他	178,494	136,697
固定負債合計	1,127,686	1,031,729
負債合計	1,962,906	1,692,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,286,250	1,286,250
資本剰余金	543,750	543,750
利益剰余金	6,931,072	6,738,615
自己株式	△87,475	△87,671
株主資本合計	8,673,597	8,480,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△989	17,158
その他の包括利益累計額合計	△989	17,158
純資産合計	8,672,608	8,498,103
負債純資産合計	10,635,515	10,190,954

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
売上高	6,194,962	4,358,806
売上原価	5,053,213	3,816,136
売上総利益	1,141,748	542,670
販売費及び一般管理費		
役員報酬	136,166	136,088
給料手当及び賞与	273,243	232,645
賞与引当金繰入額	20,839	13,881
退職給付費用	23,054	19,337
役員退職慰労引当金繰入額	12,917	13,047
減価償却費	13,581	16,275
その他	505,941	468,253
販売費及び一般管理費合計	985,743	899,529
営業利益又は営業損失(△)	156,004	△356,858
営業外収益		
受取利息	133	109
受取配当金	3,043	4,922
持分法による投資利益	17,718	11,889
受取賃貸料	20,315	20,413
補助金収入	64,110	32,840
受取補償金	—	91,116
その他	12,884	9,150
営業外収益合計	118,206	170,442
営業外費用		
支払利息	1,202	1,081
減価償却費	—	6,721
その他	409	2,214
営業外費用合計	1,612	10,017
経常利益又は経常損失(△)	272,599	△196,434
特別損失		
固定資産除却損	2,009	1,700
災害による損失	14,418	—
特別損失合計	16,428	1,700
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	256,170	△198,134
法人税、住民税及び事業税	75,767	3,270
法人税等調整額	53,202	△79,627
法人税等合計	128,970	△76,356
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	127,200	△121,777
四半期純利益又は四半期純損失(△)	127,200	△121,777

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	127,200	△121,777
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,798	18,148
その他の包括利益合計	△1,798	18,148
四半期包括利益	125,402	△103,629
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	125,402	△103,629
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自平成23年12月1日至平成24年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注2)
	バルブ事業 (千円)	メンテナンス 事業(千円)	計(千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	3,248,326	2,946,635	6,194,962	—	6,194,962
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,248,326	2,946,635	6,194,962	—	6,194,962
セグメント利益	25,249	543,550	568,800	△412,795	156,004

(注) 1. セグメント利益の調整額△412,795千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注2)
	バルブ事業 (千円)	メンテナンス 事業(千円)	計(千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	3,075,314	1,283,492	4,358,806	—	4,358,806
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,075,314	1,283,492	4,358,806	—	4,358,806
セグメント利益 又は損失(△)	97,483	△84,394	13,088	△369,947	△356,858

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△369,947千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。